



全国学力・学習状況調査の結果及び分析・方策について②

【学習への取組や学習環境などに関する調査をうけて】

この調査は質問紙によって、学校や家庭での生活や学習の状況を尋ねたものです。これまでの調査から、学力と生活環境は関係が深いと言われています。県や全国に比べて、本校の3年生は以下の特徴が見られます。

【望ましい傾向の項目】（肯定的回答が、全国平均より多い。◎は特に多い。）

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ○毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれている。
- 困りごとや不安があれば学校の先生などに相談できる。
- 学校の授業以外での読書時間が平日30分以上である。
- 昼休み、放課後、休日に、学校や地域の図書館に1週間1～3回以上行く。
- 新聞を読んでいる。 ○読書が好きである。
- ◎学校の部活動に参加している。 ◎住んでいる地域の行事に参加している。
- 総合的な学習の時間に課題を立て情報を集め整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- 学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法をきめている。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、自分が努力すべきことをきめて取り組んでいる。

【課題があると思われる傾向の項目】（肯定的回答が、全国平均より少ない。▲は特に）

- △自分には良いところがある。 △将来の夢や目標を持っていますか。
- △普段の生活で幸せな気持ちになることがある。 ▲家で計画を立てて勉強をしている。
- ▲家庭学習等の時間（平日1時間以上、休日2時間以上の割合）
- △地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ▲外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい。
- △授業で自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- △授業では課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- △授業では各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っている。
- △道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

今回の調査での最も大きな課題は家庭学習の時間の少なさでした。平日1時間以上勉強している生徒の割合が全国平均と比較して17%少なく、休日2時間以上勉強している生徒の割合も10%少なくなっています。当然この家庭学習の時間の少なさが昨日報告した正答率にも影響していると考えられ、それが自己肯定感（自分には良いところがある）の低さ、将来の夢のなさにもつながっているのではないかと考えられます。そこでまずは、3年生において進路学習の取組を進めながら、家庭で学習する意義についても繰り返し指導していきたいと思えます。さらに、日常の授業を充実させるためにも、協同学習の理念（クラス全員で協力して、みんなが勉強をわかるようになろう）に基づいた授業づくりをさらに徹底させ、生徒たちが「分かった」「できた」と感じる場面を増やし、家庭でも学習したいと思えるような授業を増やしていきたいと考えています。

また、今回の3年生の春の調査結果は、これまでの中学校2年間の積み重ねの結果であると考えられますので、現在の1年生、2年生のためにも、家庭学習の時間の増加、そして学習の充実（裏面に続く）

日々の学校生活の様子はホームページでチェックしてください。

<https://www.torikyo.ed.jp/yurihama-j/>



につながる宿題の出し方、生徒への啓発方法を今後も研究していきます。

ただ、昨日と本日報告させていただいた対応はあくまでも全体での取組で、生徒個々の課題、弱点は1人ひとり違います。そこで、当たり前のことではありますが、今後も個に応じたきめ細やかな指導を継続し、生徒1人ひとりの課題と向き合っていきたいと考えています。なお、全国学力・学習状況調査については、より詳細な結果及び分析・方策をホームページで公開しています。

保護者アンケート記述内容への返答

（意見1）

リモート・オンライン授業を取り入れ、不登校や感染症（元気になっているが出席停止の場合）の生徒が授業に遅れないようにしてほしい。

（回答1）

授業を配信するためのiPadを固定する三脚の購入、配信方法の検討・準備等、クリアしなければいけない問題を解決して、できるだけ早く実現したいと思います。ただ、タブレット端末の場合、ご家庭にWi-Fi環境がないとインターネットに接続できず、オンライン授業を受けることができません。卒業後、高等学校等でも必要になってくると思われますので、ぜひご家庭でのWi-Fi環境の整備をお願いできればと思います。

（意見2）

現在の地域の伝統的産業である、一次産業（主に水稻や梨の生産）への理解をしてもらうために職場体験の機会をつくってもらいたいと思います。近年、少子高齢化が顕著なため、人材の流出阻止を念頭に入れながらの指導が急務と感じています。

（回答2）

生徒の希望も確認しながら（希望していない生徒の場合、受け入れ先に迷惑をかける可能性があるため）、来年度以降検討していきたいと考えていますが、受け入れ先の農家との連絡のとり方についてアドバイスをいただけると助かります。

（意見3）

熱中症予防として、暑い時期の体操服通学をお願いしたい。登下校時以外のヘルメット着用について家庭でも声かけをしていますが、なかなか定着しません。時々、学校からも着用した方がいいことを伝えてほしい。

（回答3）

来週からは運動会までは体操服登校を計画しております。それ以外の時期につきましては来年度に向けて今後検討をしていきたいと考えています。ヘルメット着用の大切さ（登下校時以外も含む）については、1学期終業式でも校長から全校生徒に話をさせていただきました。それ以外にも、各学年、学級で適宜指導をしてきました。今後も指導を継続していきたいと考えています。

（意見4）

先日の大雨の時など「部活なし」の判断を登校前に決めてもらえると助かります。

（回答4）

できるだけ努力していきます。ただ、登校後に警報が出た場合、警報が出ていない日に予想以上に積雪が増えそうな場合などに、少しでも明るいうちに下校させたいと判断した時は、登校後に部活なしとさせていただくことがあります。ご了承ください。